

2006

1月号

川上ダム通信

発行者
独立行政法人水資源機構
川上ダム建設所
〒518-0294
三重県伊賀市阿保 251 番地
TEL : 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

大きく羽ばたく節目の年に



川上ダム完成予想図

明けましておめでとうございます。皆様にはすこやかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。この地に事務所を構えて24年目を迎えます川上ダム、本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、4月9日に地元で500余人が参集された「川上ダム建設促進決起集会」が開催され、また、7月1日には、河川管理者である近畿地方整備局が「川上ダムについては実施する」としたダム方針を発表という出来事がありました。

今年は更に進捗させ、関係者と調

整して川上ダム建設事業計画を見直し、確定することに全力を尽くす節目の年と考えています。

近年、日本列島を含めて地球規模の大災害が起きています。地震、大津波、台風、洪水、渇水、豪雪など、自然災害に対する備え、安心して居住できる基盤づくり、安定的な産業発展のための整備など、100年先いや1000年先にも視点を置いた社会資本の整備が今を生きる私たちの仕事ではないでしょうか。

自然災害は時と場所を選んでくれません。災害報道を耳にするとき、岩倉狭上流地域の安全と安心への備えを急ぐ必要をこの上なく感じます。

川上ダム建設予定地に住んでおられた川上区の方々、水を貯める施設を造る公共事業に協力してくださいました。みなさまの協力に心より感謝するとともに、一日も早くダム事業計画を確定させるべく奮闘することを固く決意するものです。

川上ダム全職員、一丸となって努力します。



【川上ダム建設所長 恒吉 徹】

伊賀市長との懇談会開催～地域の声を聞きながら事業展開～

平成17年12月19日（月）に伊賀市長との懇談会を川上ダム建設所において行いました。この懇談会は、流域の利水者や地域のニーズを踏まえて事業を進める体制を図るために、情報発信、関係機関との調整を目的とするもので、平成17年に入り3回目の開催となりました。

懇談会では恒吉所長が、川上ダムの現況、併せて淀川水系流域委員会における治水、利水、環境において流域委員会との意見の相違について説明を行いました。その後、意見交換を行い、今後は法手続（河川整備計画、水資源開発基本計画、事業実施計画）と事業計画を固めることが最重要課題との確認を行いました。伊賀市長からは早期に法手続が完了し、一日も早くダム本体着工を要望されました。

今後も懇談会を継続しながら、事業推進に努めてまいります。

【副所長 菊竹昭雄】



ダムサイトの現況

本年の工事の無災害と無事故完工を願う



大村神社での安全祈願

平成18年の新春を迎え、1月11日（水）に川上ダム建設事業の無災害と無事故完工を願い、地元、阿保（あお）の地の守り神である大村神社で安全祈願を執り行いました。

川上ダム建設所では、現在までで無災害労働時間が延べ5万時間を超えており、安全に十分に注視し事業の進捗を図っています。

樹齢百年を越える樹木が立ち並ぶ鎮守の森の静寂の中、金山宮司による安全祈願が行われ、今年一年間工事が安全に行われることを願うとともに安全祈願の絵馬を奉納しました。【副所長 青山太洋】

安全第一で進める川上ダム事業

川上ダム建設所では、「事業による労働災害を防止し、業務を安全かつ円滑に推進する」ために、川上ダム建設所安全協議会を毎月1回開催しています。

その活動内容は、各工事現場を視察して危険な箇所や作業員が危険な行動をとっていないか等の確認を行う「安全パトロール」の実施を中心に、労働安全重点目標の設定や各季節毎に起きやすい事故の事例報告、安全に関する討議・情報交換等を行っています。

特に寒さが厳しいこの時期には、「凍結による事故防止」を重点目標に設定し、路面凍結による事故防止に対する注意喚起や足場の凍結等に起因する転落事故の防止等に重点をおいた活動を行っています。

安全協議会の活動が実を結び、平成17年12月末時点で無災害労働時間が延べ5万時間超となっています。今後とも安全第一に工事を進められるように安全協議会の活動を進めていきます。

【安全協議会事務局 西川英之】



安全協議会の様子

川上ダム事業進捗状況の紹介

付替県道松青線第3工区(その5)工事



工事現場の様子

本工事は、12月号で紹介した第3工区(その4)工事に隣接し、県道松阪青山線の付替道路として、伊賀市老川と阿保地内に平成17年3月から18年2月までの工期で施工しています。

工事の概要は、山を掘削して延長約141m、幅員8mの道路を作るもので、山全体の掘削量が約25,000m³でダンプトラック約4,500台分にも及びます。また、来年度施工予定である4号橋(延長107m)の橋台を施工しています。現在までに掘削や橋台の施工は終了し、今後、掘削法面へ植物の種子を吹付ける工事や路盤の舗装工事を施工していきます。【工事課 望月登】

技術力の向上と蓄積へ

1月24日(火)に今年度5回目の勉強会を開催し、講師として国土防災技術株式会社の方を招き、「地すべりGISを利用した地すべりの管理と設計支援」、「湛水地周辺地すべりの安定度の新しい評価手法」について紹介していただきました。

このように、川上ダム建設所では、平成14年度からダム等技術全般に関する勉強会を行っています。この勉強会は、職員の技術力向上を図るため、建設コンサルタントや建設関連会社の皆様方から最新技術等について紹介していただくものです。今回の勉強会では、地すべりGISのメンテナンス方法など活発な質疑が出され、有意義な勉強会となりました。今後とも、勉強会の開催をとおして職員の技術力向上を目指していきたいと思えます。

【調査設計課 黒木裕次】



ダム等技術勉強会

STOP!! 『不法投棄』

川上ダム建設所では、毎週月曜日に職員3名で事業用地を巡視しています。その目的は、事業用地を適正な状態に保全するため、具体的には「土砂の流出・崩落、落石」「倒木、森林火災」「不法投棄」などの状況に注意を払って巡視しており、異状を発見した

ときは、安全を第一に必要な措置や関係機関に連絡しています。

特に不法投棄は、環境への悪影響も懸念されることから注視しており、これまでのところ家電といった悪質な不法投棄は見受けられないものの、道路脇への空き缶等のポイ捨ては後を絶ちません。今後とも地元自治体等との緊密な連携を図りつつ、事業用地の保全に取り組んでいきます。

【第一用地課 塩飽俊夫】



悪質な不法投棄



『不法投棄禁止』

国際猛禽類シンポジウムに参加して

～オオタカのアセスメントのための調査・研究～



シンポジウムの様子

雪降る東京・虎ノ門、1月21日（土）発明会館大ホールで開催されたシンポジウムに参加しました。主催は NPO 法人ラプターズジャパン（日本猛禽類研究機構、理事長・阿部學元新潟大学教授）、出席者は150名でした。

元国土交通省国土技術政策総合研究所の百瀬浩氏による発表「オオタカを中心とした希少猛禽類の生息環境評価と、事業影響の予測方法について」では、栃木県で行った広範囲の調査によるとオオタカは人口が高密度のエリアを除いて広く分布している一方、サシバは水田に依存する傾向があること、実験室に飼育したオオタカのオペラント条件付けによる実験によるとオオタカは 2kHz が聞き取りやすいので、騒音は大きさだけではなく周波数も考慮した方がよいといった事例が報告されました。

オオタカは地域環境に適応する許容性がある程度見込まれるようですが、さらに学術面で研究が深まり、里山保全ひいては地域の環境保全に繋がっていけば良いなと感じました。 【環境課 上坂ゆき子】

新技術の紹介～エコセルロモルタル工法～

今回は、明興防水株式会社が開発した繊維質物質を主骨材とし、灰、セメント、起泡剤を混合した全く新しい軽量多孔質繊維強化コンクリート『エコセルロモルタル工法』を紹介します。

『エコセルロモルタル』は、製紙会社等で使用した古紙をリサイクルする際に出る産業廃棄物(ペーパースラッジ)を材料としています。そのため、近年の命題である循環型社会の実現を可能にし、本当の意味での完全なりサイクルにつながります。また、エコセルロモルタルの曲げ強度は圧縮強度の5～6割と



エコセルロモルタル

非常に高く、乾湿繰り返し試験も30年以上と耐久性にも優れています。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム (NETIS) より参照】

EVENT

沢田敏男氏文化勲章受章記念講演会

地元旧青山町出身で元京都大学総長の沢田敏男氏が、「文化勲章を受章して～育まれた郷土に感謝～」の演題で講演されます。 ※入場無料、整理券配布
○日時／2月4日（土）13時～15時
○場所／青山ホール（伊賀市阿保）

八日戎

「えべっさん」の愛称で親しまれ、縁起物の「吉兆（けっきょ）」が販売されます。また、山と海の幸の物々交換を起源とする「はまぐり市」が多くの露店とともに立ち並びます。
○日時／宵宮－2月7日（火）、本祭－2月8日（水）
○場所／蛭子神社（名張市鍛冶町）

第21回 大山田芸術文化祭

文化講演会「風のをききながら～バリトンコンサート～」、第29回大山田芸能大会、第32回大山田展覧会などの催しが行われます。
○日時／2月11日（土）～12日（日）
○場所／大山田農村環境改善センター（伊賀市平田）

編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。

今冬は雪が降る日が多く、寒い日が続いております。皆様も健康と安全に気を付けて今年1年元気に過ごしてまいりましょう。

本年度も川上ダム建設所職員一同よろしくお祈りいたします。

広報誌発行事務局
編集長 恒吉 徹（川上ダム建設所長）
デスク 上村 信幸（総務課長）
" 二林 修（工務課長）
通信記者 武村 剛泰（総務課）
" 田中 幸志（工務課）